



毎月ついたち
しがプラチャレンジの日

vol. 52

プラスチックごみ
削減の取組紹介

原馬化成株式会社(長浜市)

プラスチックごみを
減らそう!



プロジェクトキャラクター
湖神 挑一(こがみ ちやういち)

廃プラを再資源化 タイヤストッパー・サーキュレーションプロジェクト

原馬化成株式会社は、SBT認証取得とカーボンニュートラル実現に向け、工場で生まれる廃プラスチックを「捨てるもの」ではなく「未来をつくる資源」として捉え直しました。増え続ける廃材処理コストと、現場から上がった「もったいない」の声—それらが私たちを動かした原動力です。端材を徹底分別し、再生PPとして工程に戻せる管理体制を整備。射出成形の知見とCAE解析を活かして形状を磨き込み、樹脂使用量を抑えながら必要強度を確保したタイヤストッパーを開発しました。



軽量化で材料投入量と輸送負荷を下げ、耐久性向上で交換頻度を抑え、ライフサイクル全体の資源消費を縮小します。工程内ロスは“見える化”して改善を継続し、外部処理依存を減らしながら、バージン材削減効果を定量化中です。



タイヤストッパー
「HOLDEN+」

今後は、原料段階のトレーサビリティ確保、再生材比率の段階的引き上げ、回収・再資源化(テイクバック)を見据えた設計と運用へ踏み込みます。発生量を減らし、出してしまう分は価値へ戻す—この循環を社内標準として定着させ、現場発の循環型ものづくりを地域へ広げていきます。



原馬化成株式会社



住所:滋賀県長浜市西上坂町293-1 TEL:0749-63-8989 FAX:0749-64-0132

HP: <https://harauma.com> 設立:1980年 資本金:3,000万円

業種:プラスチック射出成形加工および二次加工メーカー。自動車部品、オフィス家具部品などの樹脂製品を製造。長年培った成形技術を基盤に、再生材活用や循環型ものづくりにも取り組む。

廃材を“捨てるもの”ではなく“再び価値を生む素材”として捉え直し、強度と使いやすさを両立するタイヤストッパーにしました。回収から再資源化、製造、販売までを地域のパートナーとつなぎ、循環が続く仕組みとして広げていきます。まずは運送現場での採用を増やし、再生材の需要を安定させることで、プラごみ削減とCO₂削減の実感ある成果につなげます。



営業課長
長尾 健次さん



滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845